

令和3年度 岩手県自主防災組織活性化 モデル事業実績報告

作成団体：久慈市総務部消防防災課
東広美町自主防災会

東広美町の概要について

世帯数	212世帯（久慈市：15,519世帯）
人数	454人（久慈市：33,311人）
高齢者数	122人（久慈市：11,438人）
高齢化率	約26.9%（久慈市：約34.3%）
想定される災害	洪水、地震、津波
災害被害実績	東日本大震災、平成28年台風10号

※令和4年1月末現在の人口データを使用

※想定される災害は、平成30年3月改定のハザードマップより

選定理由について

- ・地域の防災、減災活動を定期的に開催し、防災意識向上につながる取組みを行っていること。

主な取組み⇒①定期的な会報の作成・回覧

②ゴミステーションに避難経路を掲示

③市主催の津波避難訓練に参加

④地域の方との防災さんぽ



防災さんぽの様子

- ・令和元年度に岩手県自主防災組織活性化モデル事業（育成支援事業）を活用していたこと。

- ・上記事業活用後、更なる地域の防災体制の強化、組織の活性化につなげる意欲があること。

想定される自然災害について

(1) 洪水被害

※久慈市総合防災ハザードマップより（平成30年3月更新）

(2) 津波被害

※日本海溝・千島海溝沿いに巨大地震による津波浸水想定

（令和2年9月内閣府公表資料より）

※今後、県のシュミレーション結果により津波浸水想定区域が変更となる可能性がある

洪水ハザードマップ



- ① 久慈市役所
- ② 久慈駅
- ③ 久慈市立長内小学校
- ④ NTT久慈ビル
- ⑤ 久慈市防災センター
- ⑥ 東広美町公民館
- ⑦ 下長内公民館
- ⑧ つつじヶ丘霊園

凡例

【土砂災害のおそれのある地域】

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- がけ崩れ
- 土石流
- 地すべり

【避難した場合に想定される水深(ランク別)】

- 3.0~5.0m
- 1.0~3.0m
- 0.5~1.0m
- 0.5m未満

【避難に際し注意を要する地域】

- 浸水実績
- 土砂流出実績

【避難場所】

- 緊急避難場所
- 避難所兼緊急避難場所

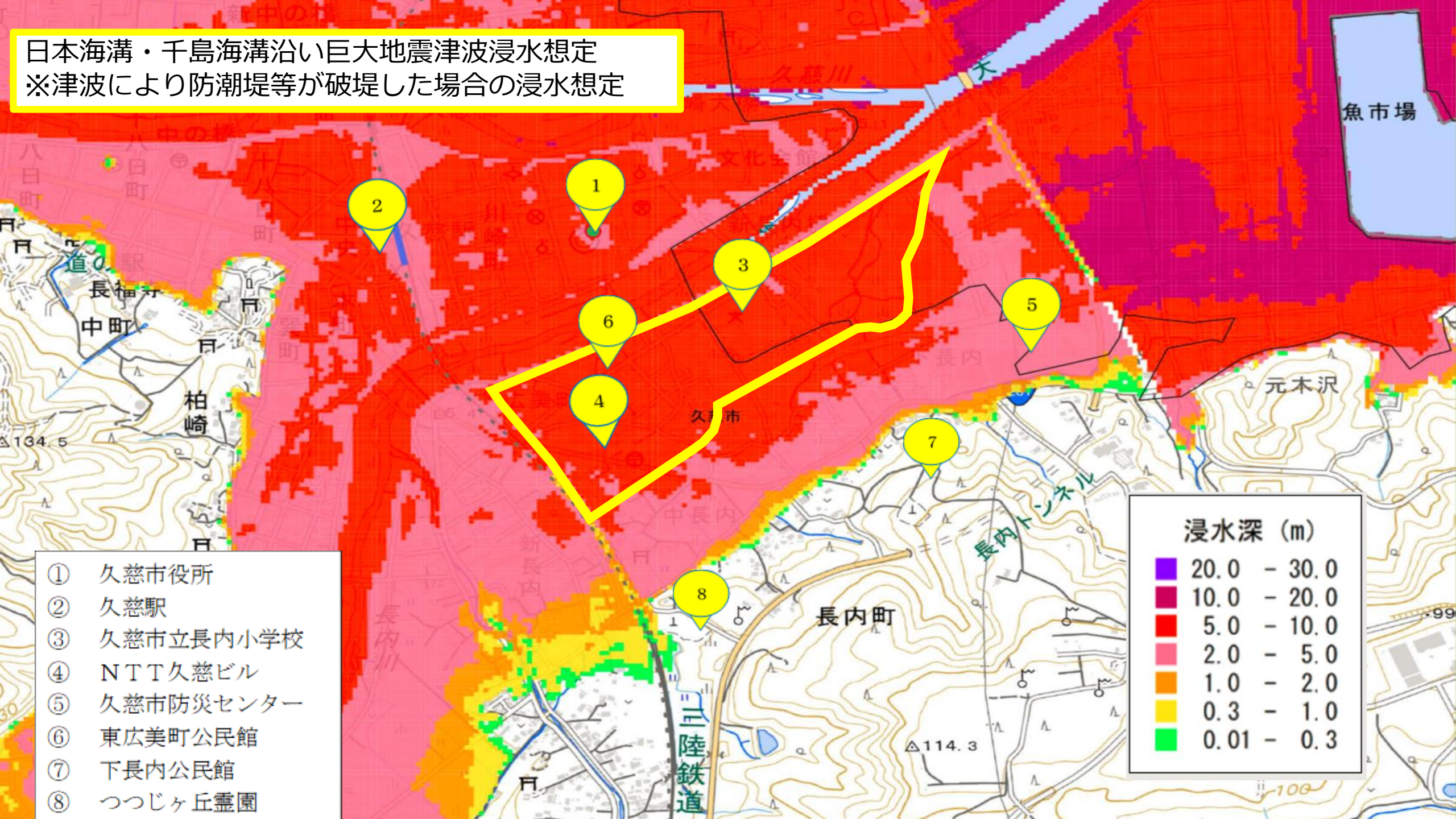
※赤斜線がある施設は洪水・土砂災害の状況により使用出来ない場合があります。

【その他防災関連施設】

- 防災行政無線スピーカー
- 屯所(消防団)
- ヘリポート
- 雨水ポンプ所

→ 地下道、アンダーパス

日本海溝・千島海溝沿い巨大地震津波浸水想定
※津波により防潮堤等が破堤した場合の浸水想定



- ① 久慈市役所
- ② 久慈駅
- ③ 久慈市立長内小学校
- ④ NTT久慈ビル
- ⑤ 久慈市防災センター
- ⑥ 東広美町公民館
- ⑦ 下長内公民館
- ⑧ つつじヶ丘霊園

浸水深 (m)	
20.0 - 30.0	紫
10.0 - 20.0	赤紫
5.0 - 10.0	赤
2.0 - 5.0	赤橙
1.0 - 2.0	黄
0.3 - 1.0	黄緑
0.01 - 0.3	緑

事前打合せ（R3.9.6）

東広美町自主防災会が抱える課題等について、下記のとおり、関係機関と情報共有を図った。

- ① 訓練参加の呼びかけ方法について
- ② 要配慮者の支援方法について
- ③ 避難所、避難場所の検討について
- ④ どの段階で避難誘導の声掛けを行うのか

地域の課題を解決するために「岩手県自主防災組織活性化モデル事業」を活用し、更なる組織活動の活性化、地域防災力の向上を図ることが期待される。

第1回活性化会議 (R3.10.16)

～避難経路の確認・意見交換会～



避難経路の確認

○公民館から指定避難場所（つつじヶ丘霊園）までの経路を歩き課題点を発見！

- ・避難場所に照明がなく、夜間の避難となった時に避難者が不安を感じる。
- ・避難場所（公民館等）の鍵を地域の方なら誰でも開閉できるようにダイヤル式の鍵に変えるなどの工夫が必要。
- ・避難経路が舗装されていないため、車椅子の方が避難できない可能性がある。
- ・避難場所にトイレ環境が整備されていない。



意見交換の様子

○東広美町自主防災会との意見交換

・市主催の津波避難訓練（R3.11.14）までに以下の取組みを行うことに決定。

★班ごとに津波避難訓練参加の意向調査を行い整理する。

- ①避難する人
- ②声をかけてくれば避難する人
- ③サポートがあれば避難する人
- ④避難しない人

※東広美町内の住民を対象に意向調査。

第2回活性化会議 (R3.11.7)

～津波避難訓練実施に係る参加意向調査～



○参加意向調査を行う際、以下のルールにより調査を開始する。

①意向調査は、各班長が担当すること（班長が対応できない班は、役員が代わりに行う）

②要支援者の情報を役員、班長で共有した

※ 1、2、12班に1名ずつ

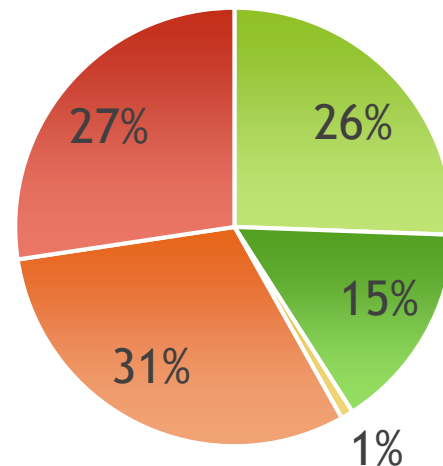
③不在の家庭については、ポストに調査用紙を投函する（訓練実施のお知らせのみ）

④しつこく聞き取りを行わないこと



参加意向調査の様子

意向調査結果 (N=117)



■ 必ず参加

■ 出来れば参加

■ 手助けがあれば参加

■ 参加しない

■ 不在

令和3年度久慈市津波避難訓練 (R3.11.14) ～東広美町自主防災会訓練当日の対応～

避難場所を目指して歩く避難者の様子



避難行動要支援者を車椅子に乗せて訓練へ参加



避難行動要支援者をリヤカーに乗せて訓練へ参加



つつじヶ丘霊園の避難者の様子



第3回活性化会議（R3.12.5）

～津波避難訓練を終えて～



◎ 津波避難訓練での成果について ◎

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震を想定した訓練に以下の取組みを行い、前回の訓練参加者数を上回る90名の方から参加していただいた。



- ①地域住民参加型の防災さんぽ
- ②町内会報による周知
- ③各班長による参加意向調査
- ④避難経路の見える化
(ゴミステーションに掲示)
- ⑤要支援者を想定した対策
(リヤカー、車椅子を整備、利用)

東広美町自主防災会の取組み紹介 ～会報・避難経路図（イメージ）～

1

町会報 21年度第9号（令和3年9月1日発行）：東広美町町内会

《発行責任者：〇〇〇〇（町内会長）/編集責任者：〇〇〇〇（事務局長）》

「防災さんぽ」避難所・経路・時間を確認！

東広美町町内会・自主防災会は8月29日（日）10時から久慈市津波避難訓練に先だって「防災さんぽ」を実施しました。10月31日に延期された「巨大地震津波」を想定した避難訓練では「つつじヶ丘霊園」が緊急避難場所に指定されていますが、ここまでの避難経路や避難場所の確認を目的に「ひまわり公園」に10時集合して「つつじヶ丘霊園」まで歩きました。所要時間は約15分で約900mでした。地震発生から津波到達までの時間約30分以内に避難場所に避難することを考えると「津波てんでんこ」で十分避難できます。帰路は下長内公民館（避難場所）を経由して約1時間の「防災さんぽ」でした。今回の「防災さんぽ」には地域住民20人と久慈市防災センターの藤森さんからも参加して頂きました。

10/31の久慈市避難訓練では本気になって皆で避難訓練に参加しましょう。



久慈市巨大地震津波避難訓練10/31に延期！

久慈市は巨大地震を想定して津波避難訓練が新型コロナウイルスの関係で10月31日に延期になりました。あらかじめ後日、詳細についてお知らせしますが基本的には同じ内容で開催される予定です。

☆津波防災の基本は「早期避難」(津波てんでんこ)です！

2



★訓練参加促進活動について、①の町内会報を東広美町自主防災会が作成、配布。

★避難経路の見える化について、②の避難経路図を町内にあるゴミステーションに掲示。

このような取組みを継続的に行ったことにより町内の防災意識向上につながり、訓練参加者が増加した。

津波避難訓練を通して ～気づいたこと・感想・課題～

○気づいたこと・感想○

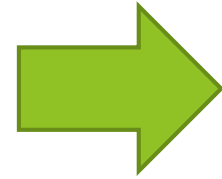
- ・声をかけてくれたことで訓練に参加しやすかった。
- ・避難場所を知っておきたいが参加するきっかけがなかった。誰かの誘いを待っている人がいると思う。
- ・有事の際は、近所の人と助け合いが必要だと思った。普段から近所の人とコミュニケーションを取っていききたい。
- ・市民センターとして、顔の見える関係作りをサポートしたい。
- ・車椅子の担当だったが、未舗装、坂道であっても特に問題なかった。

△課題△

- ・避難経路が整備されていないため、リヤカーのタイヤがはまったり、乗っている人が前のめりになってしまった。
- ・若い世代の協力がもっとほしい。（参加意向調査の際も不在のところが多かった。）
- ・賃貸住宅に住んでいる方にどう周知していったらよいか。
- ・高齢者をどのように避難させたらよいか。

第4回活性化会議 (R4.1.6)

～個別避難計画策定 (高齢者対策等)～



○要支援者の情報を地図に印を付け、町内のどこに住んでいるか。

⇒要支援者情報地図の作成

○町内の要支援者を誰がサポートするか。

⇒要支援者の近場に住んでいる役員・班長がサポートすることに決定！

○個別避難計画を誰が、どうやって、いつまでに作成するか。

⇒役員・班長が要支援者本人と対話をしながら、1月中までに作成する！！

○連絡体制について

⇒連絡体制 (役員・班長) の整備・共有を行った。

垂直避難場所の確保（R4.1.14） ～民間企業の施設利用について～



○株式会社NTT東日本との相談○

【経緯】

多様化する自然災害から身を守るため、垂直避難できる施設がないか検討していたところ・・・



【NTT東日本の方と接触可能に！】

県モデル事業担当者T橋さんの知り合いを通じてNTT東日本の方と接触することが可能となり、相談の場（R4.1.14）をセッティング

○相談内容

- ・ NTTの施設を利用させていただくことは可能か。
⇒ NTTとして、地域の役に立てることであればぜひ協力したい。
- ・ 施設の内覧をさせていただくことは可能か。
⇒ 可能。内覧日の日程調整することに。



★NTT久慈ビルの内覧日決定★
令和4年3月15日（火）13：30～

第5回活性化会議（R4.2.27）

～個別避難計画の策定状況～

- ・新型コロナウイルス感染症の急拡大により、第5回活性化会議を延期することに決定した。

- ・次回の活性化会議の開催日は、**令和4年3月19日 14：00～**

今後の取組みと計画について ～安心して暮らせる町内会へ～

- ・個別避難計画の策定状況について、役員・班長と共有する。

⇒第5回活性化会議で情報共有する予定。

- ・登録済みの個別避難計画を現行化させ、より実効性のある計画にする。

⇒個別避難計画の内容に基づいて訓練を行い、必要に応じて見直し、更新する。

- ・垂直避難施設の利用について、今後、施設管理者と協議・検討を重ねながら利用に向けて取組む。また、垂直避難場所候補地を利用した訓練を実施する。

- ・視察研修について、新型コロナウイルス感染症の感染状況をよって参加する、しないの判断をする。

【視察研修について】

場所：陸前高田市矢作町 日時：令和4年3月27日（日）10：00～12：00

目的：他地域の自主防災組織の要支援者対応、支援方法を見学し、東広美町自主防災会に活かせる部分を取込むため。また、矢作町の方との意見交換を通じて双方の取組みの活性化につなげるもの。

誰一人として取り残さない町内会を
目指し、東広美町自主防災会の取組
みはこれからも続く



東広美町自主防災会提供写真